

第1回 大分市陸上競技記録会 要項

主催 大分市陸上競技協会
主管 大分市陸上競技協会
後援 一般財団法人 大分陸上競技協会
大分市 大分合同新聞社
協賛 ジェイリース (株)

1 期 日 2025年4月19日 (土)

審判員・競技者受付	8:00～
審判会議	8:30～
競技開始	9:30～

2 会 場 大分市営陸上競技場 大分市西浜1-1
ジェイリーススタジアム 097-558-0613

3 競技種目

【共通男子】

200m、400m、1500m、10000m
110mH(1.067m/9.14m)、300mH(0.914m/35m)、3000mSC(91.4cm)
4×100mR、走幅跳、走高跳、砲丸投(7.26kg)、やり投(800g)、ジャベリックスロー

【高校男子】

砲丸投(6.00kg)

【少年B男子】

砲丸投(5.00kg)

【中学男子】

150m、走幅跳、砲丸投(5.00kg)

【共通女子】

200m、400m、1500m、10000m
300mH(0.762m/35m)、2000mSC(76.2cm)、4×100mR
走幅跳、走高跳、砲丸投(4.00kg)、やり投(600g)、ジャベリックスロー

【中学女子】

150m
走幅跳、砲丸投(2.72kg)

【小学5、6年生男女共通】

100m、800m、4×100mR
走幅跳、走高跳

4 競技順序及びタイムテーブル

申し込み締め切り後、大分市陸協ホームページに掲載する。
(www.oita-city-riku.net)

5 申込方法

meet7 web entry サービスを使用して申込みこと。

https://osr.meet7.org/web_entry/menu.cgi

問い合わせ先

ジェイリーススタジアム内 田中 繁

TEL 090-1361-0781

E-mail fant37086@gmail.com

6 出場制限

- ① 1人2種目以内とする。ただし、リレーを除く。
- ② 日本陸連登録者とする。ただし、小学生を除く。

7 申込み料

○小学生（1種目）	800円（2種目は+400円）
○中学生（1種目）	1,000円（2種目は+500円）
○高校生（1種目）	1,200円（2種目は+600円）
○一般（1種目）	1,500円
○リレー（1チーム）	1,600円

8 申し込み締め切り 4月11日(金)必着

・大会参加料は4月14日(月)までに**チーム名または責任者名**で下記へ振込むこと。

<振込先> ゆうちょ銀行（店番：728） ※手数料はご負担下さい

口座名義 大分市陸上競技協会

口座番号（普通）17200-25128521

他銀行からお振込みの場合

口座番号（普通）2512852

※本大会が中止になった場合、参加料から手数料を差し引いた金額を返金します

※払込取扱票の払込受領証が、参加料の領収書となります

9 その他

- ① 最高記録は、組み分けの際に参考資料となるので、必ず記入すること。
- ② 問い合わせ先
大分市営陸上競技場内 田中 繁 TEL 097-558-0613
[e-mail: fant37086@gmail.com](mailto:fant37086@gmail.com)
- ③ アスリートビブスは日本陸連登録番号を使用すること。（小学生は小陸連登録番号）
- ④ 傷害保険に加入し、監督・保護者の責任で申し込むこと。

競技注意事項

1 本大会は、2025年度(財)日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項に従って行う。

2 競技者の招集について

- (1) 招集は、一次コールを第4ゲート(100mスタート側)に設ける。スタートリストにチェックを入れる。
- (2) 競技者は、招集開始時刻から招集完了時刻の間に、招集所で各自でコールを行い、その場で腰ナンバーカードを受け取り、使用するスパイク・シューズのチェックを受けること。
- (3) 競技者は、コールを済ませた後、トラック競技者は競技開始10分前に現地に集合すること。
- (4) 跳躍競技および投てき競技の場内練習は競技開始時刻の40分前から30分前までに集合して審判員の指示のもとに行うこと。
- (5) 棄権する場合は予め棄権届を招集所に提出する。(用紙は招集所に用意する)
- (6) 招集時間

競技種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック	30分前	15分前
フィールド	40分前	30分前

- (7) 招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権とみなす。ただし、同時に他種目に参加する者は、その旨を競技者係に申し出て、前もってコールをすること。

3 リレーについて

- (1) リレーオーダー用紙は、リレー競技開始90分前までに、招集所に提出すること。招集は規定どおり行うこと。(用紙は、招集所に用意する)
- (2) リレー競技に参加するチームは、同一、同色のユニフォームまたは、はちまきで参加すること。
- (3) リレー競技のマーカ―は、各チームで準備すること。終了後は、各チームで処理すること。

4 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは、ユニフォームの胸・背部に確実に付けること。ただし、跳躍競技は、どちらか一方だけでよい。
- (2) トラック競技に出場する競技者は腰ナンバーカードを右腰部につけること。レース後は回収ボックスに入れること。

5 走路・競技順序・競技方法について

- (1) トラック競技の走路順およびフィールド競技の競技順は、プログラム記載の番号順とする。
- (2) 3000m以上については、バックストレート側に給水所を設置する。
- (3) 3000m以上のトラック競技において、1組20名を超える場合は、グループスタートを行う。
- (4) 短距離競技は、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走ること。
- (5) スタートの合図は、イングリッシュコマンドで行い、不正スタートは1回目から失格とする。
- (6) スタート時に他選手への妨害や遅延行為による不適切行為があった場合は、審判長による警告を与え、警告2回で当該種目を失格とする。また、Setの合図後の「ピック付き」により、他の競技者の妨害をし、不正スタートを生じさせた場合も警告を与える。
- (7) 走高跳のバーの上げ方は、下記のとおりとする。

男子走高跳	140, 170 (練習) 155-160-165-170-175-180-185-190-195-198-201-204
女子走高跳	120, 140 (練習) 125-130-135-140-145-150-155-158-161-164

- (注) 第1位が同成績の場合、順位決定のバーの上げ下げは、走高跳では2cm単位とする。
なお、気象条件等により(7)項を変更する場合は、審判長がその旨決定する。

6 用器具について

- (1) 大会に使用する器具は、競技場付設のものを使用すること。ただし、やりは、検査を受けて持ち込むことができる。
- (2) やりの検査は、104室で行う。ただし、合格したものは共通使用とする。
検定時間は、競技開始時刻の90分前とする。

7 ウォーミングアップについて

- (1) 競技前の練習は、競技場内バックストレート(6～9レーン)とバックスタンド裏の補助走路で行うこと。
- (2) 雨天時は雨天練習場を開放する。
- (3) 跳躍競技および投てき競技は、招集完了後場内で審判員の指示のもとに練習時間を確保する。

8 記録発表・表彰について

- (1) 記録の発表は3位までアナウンスを行う。記録は大会の記録速報で確認すること。
- (2) 表彰は行わない。

9 その他

- (1) 使用するスパイクのピンは、走高跳、やり投は12mm以下のピンとし、その他は9mm以下のピンとする。
- (2) 貴重品類は、各自で保管すること。万一紛失・盗難にあっても、主催者は責任を負わない。
- (3) 競技場南北外階段は7時に開場、正面玄関は競技開始まで審判、役員のみとする。その後は開放する。
- (4) 競技の結果または競技実施に関する抗議は、その種目の結果の正式発表後30分以内に、審判長に対して口頭で行うことができる。(代表者が行うこと)
- (5) 抗議に対して審判長は速やかに裁定する。裁定を不服として上訴する場合は、上訴申請書に必要事項を記入して、預託金10,000円を添えて大会本部に申し出ること。
- (6) 記録は、大分市陸上競技協会のホームページで確認すること。
- (7) 駐車場は、大分川河川敷を6時に開錠する。競技終了後1時間を目途に施錠する。
右岸または左岸は直前のHPで確認ください。
- (8) 競技場内の駐車は役員、審判員のみとする。選手の送迎や荷物の積み下ろしは駐車場入り口の警備員の指示に従うこと。
- (9) プログラムの必要な方はHPよりDL(ダウンロード)してください。数に限りがありますが1部300円で受付で販売します。
- (10) 応急処置を必要とする事故が生じた時は、大会本部に連絡のうえ処置を受けること。なお、応急処置後の治療は個人負担とし、以後の責任は負わない。
- (11) メインスタンドでの連呼応援は禁止とする。また、フィールド競技を行っている際は、その付近での応援は禁止する。
- (12) 横断幕とのぼりについては、スタンド最上段に設置すること。

10 個人情報の取り扱いについて

- (1) 本大会に関して寄せられた個人情報は、本大会の目的以外に使用しない。
- (2) 本大会が認めた情報機関により撮影された写真が、新聞・雑誌・大会報告書・ホームページ等で公開されることがある。
- (3) 競技者の盗撮防止のため、望遠レンズ付きカメラによる撮影は、主催者が認めた場合のみ許可をする。
競技場玄関の報道受付でIDカードをもらい、首にかけて撮影すること。